

占領期の 京都

一九四五年八月、敗戦により大日本帝国が崩壊し、戦時体制が解かれるとともに、戦争に関わる証拠の隠滅や占領軍受け入れの調整がはじまりました。同年九月には京都に米軍が進駐し、おもに西日本の占領拠点とされました。本展では、収蔵資料を中心に占領期の京都の様子を紹介します。

会期：2018年2月10日(土)－3月25日(日)

会場：立命館大学国際平和ミュージアム 2階常設展示室内

開館時間：9時30分～16時30分(入館は16時まで)

休館日：月曜日(但し2/12は開館)、2/13(火)、3/22(木)

見学資料費：大人400円、中高生300円、小学生200円

※地階受付で見学資料費をお支払いください ※立命館で学ぶ人・働く人は無料です

交通案内：市バス12・15・50・51・55・59, JRバス「立命館大学前」下車

市バス204・205「わら天神前」下車

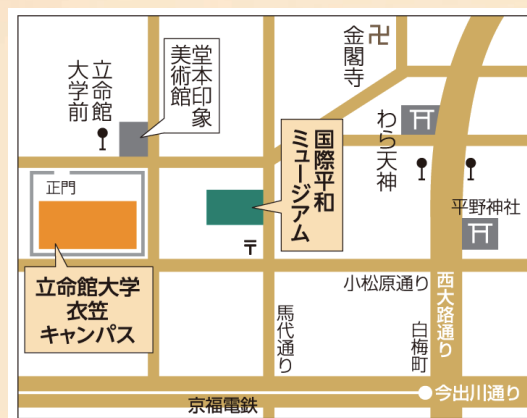
※駐車場はありませんのでお車での来館はご遠慮ください

主催・問い合わせ：立命館大学国際平和ミュージアム

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL075-465-8151 FAX075-465-7899

<http://www.ritsumeikai.ac.jp/mnng/er/wp-museum/>



占領下京都地図(部分) 大塚隆コレクション